

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	1914	課コード	1706	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 ■経常 □なし
-------	------	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 療育・教育システムの充実	個別事業 子ども発達センター施設の維持管理	実施計画への位置づけ	○有 ○無	②部課名	子ども部・子ども発達センター				
	③事業主体	●市 ○その他 ( )		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市						
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	1人 (換算人数)	0.1人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	6,904千円	当該(開始)年度	(当初) 9,962千円 (うち人件費 880千円)	(変更後) 千円 (うち人件費 千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード	33106	重点プロジェクトへの位置づけ	重点4	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無	部門別計画への位置づけ	(計画名)	健康福祉総合計画・子ども総合	
(2) 目的	施策目的・展開方向	発達に支援が必要な子どもに対しては、児童発達支援センターの機能を有する子ども発達センターにおいて、相談・訓練・通所支援を行って発達を促すとともに、子どもの保護者に対する支援を行います。また、民間事業所や保育園、幼稚園に対する発達支援のノウハウの提供や保護者向けの学習会の開催などを通じて、子ども発達センターの施設利用者が安全・安心、かつ、効率良く利用できるよう施設の維持管理・運営を行う。			事業目的	早期療育の拠点である子ども発達センターの施設を利用する、子どもとその保護者等の利用者が安全・安心に利用出来るよう施設の維持管理・運営を行う。					
(3) 事業内容	内容				当該年度執行計画	子ども発達センターの維持管理、運営。虐待、DV、保護者にメンタル等の問題を抱えている家族や、利用者のみならずメンタル等に問題を抱えている人も増加している。子ども発達センターを利用する子どもとその家族の安全・安心を確保し、安心安全に利用してもらうために防犯カメラを設置する。防犯カメラを設置することで、不審者に対して威圧感を与え、犯罪や不正行為を未然に防ぐ。					
					当該年度活動結果指標	施設の維持管理、運営。	単位	%	想定値	100	
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	早急の安全確保及び効率的な利用が出来る施設整備を目的に、建物などの維持管理、運営を行う。				直接	施設の維持管理、運営。		%	100	100	
平成32年度	施設の維持管理、運営。				直接	施設の維持管理、運営。		%		100	
平成33年度	施設の維持管理、運営。				直接	施設に維持管理、運営。		%		100	
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		通信運搬費	32	施設維持消耗品費	20	施設維持消耗品費	20	施設維持消耗品費	20	施設維持消耗品費	20
		光熱水費	2,475	光熱水費	2,651	光熱水費	2,651	光熱水費	2,651	光熱水費	2,651
		施設修繕	185	通信運搬費	32	通信運搬費	32	通信運搬費	32	通信運搬費	32
事務機器使用料	52	清掃委託料	3,685	清掃委託料	3,685	清掃委託料	3,685	清掃委託料	3,685		
草刈り委託料	37	草刈り委託料	25	草刈り委託料	25	草刈り委託料	25	草刈り委託料	25		
施設維持消耗品	22	事務機器使用料	52	事務機器使用料	52	事務機器使用料	52	事務機器使用料	52		
		嘱託職員報酬費(1号)1名	1,801	防犯カメラ維持管理費	11	防犯カメラ維持管理費	11	防犯カメラ維持管理費	11		
		嘱託職員共済費(社会保険料、雇用保険費用弁償)	316	嘱託職員報酬費(1号)1名	1,801	嘱託職員報酬費(1号)1名	1,801	嘱託職員報酬費(1号)1名	1,801		
		* 防犯カメラ設置	443	嘱託職員共済費(社会保険料、雇用保険費用弁償)	316	嘱託職員共済費(社会保険料、雇用保険費用弁償)	316	嘱託職員共済費(社会保険料、雇用保険費用弁償)	316		
予算(決算)額	合計		6,067	合計	9,082	合計	8,650	合計	8,650		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%		
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%		
	起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%		
	一般財源	6,053		9,068		8,636		8,636			
その他の財源	□特会 □受益 □基金 ■その他	14	□特会 □受益 □基金 ■その他	14	□特会 □受益 □基金 ■その他	14	□特会 □受益 □基金 ■その他	14			
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.4		0.1		0.1		0.1			
	正職員人件費	3,520		880		880		880			
	嘱託職員報酬額	0		2,174		2,167		2,167			
	臨時職員賃金額	0		0		0		0			
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	9,587		9,962		9,530		9,530				
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	95.87千円/%		99.62千円/%								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	子ども発達センターを利用する利用者の利便性や安全を図るため、施設の維持管理、運営をする必要がある。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった ＜想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因＞				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他		＜その他の内容＞		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他 ＜その他の内容＞		＜市実施の具体的な内容・必要性の理由＞	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)		○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 ＜その他の内容＞ 事業にそぐわない。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 ＜期待した以上となった理由/期待以下であった原因＞		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	環境に配慮して事業を進めているか？		□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 ＜その他の内容＞ 再生紙の利用、節電等、エコを心掛ける。				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった ＜想定どおりでなかった原因＞		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要	
	100	100	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	＜目標を達成した理由/未達成となった原因＞		○要 ○不要
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 ■⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった ＜想定どおり削減できなかった原因＞		○要 ○不要
	事業費削減率(%)		＜削減の内容＞		＜超過理由等＞				○要 ○不要
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	1	10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	＜目標値以上となった理由/目標値以下であった原因＞		○要 ○不要

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善案及び展開方向
----	--------	-----------